

<総計欄> 1月の仕入量は145,645トン前月比-9.3%、前年同月比-3.8%、販売量は131,947トン前月比-9.8%、前年同月比-8.6%。仕入量・販売量ともに前月比減少、前年同月比でも減少となりました。在庫量は242,772トン前月比+6.0%、前年同月比+8.9%、在庫量は前月比、前年同月比ともに増加しました。在庫率は184.0ポイントと大きく上昇しました。

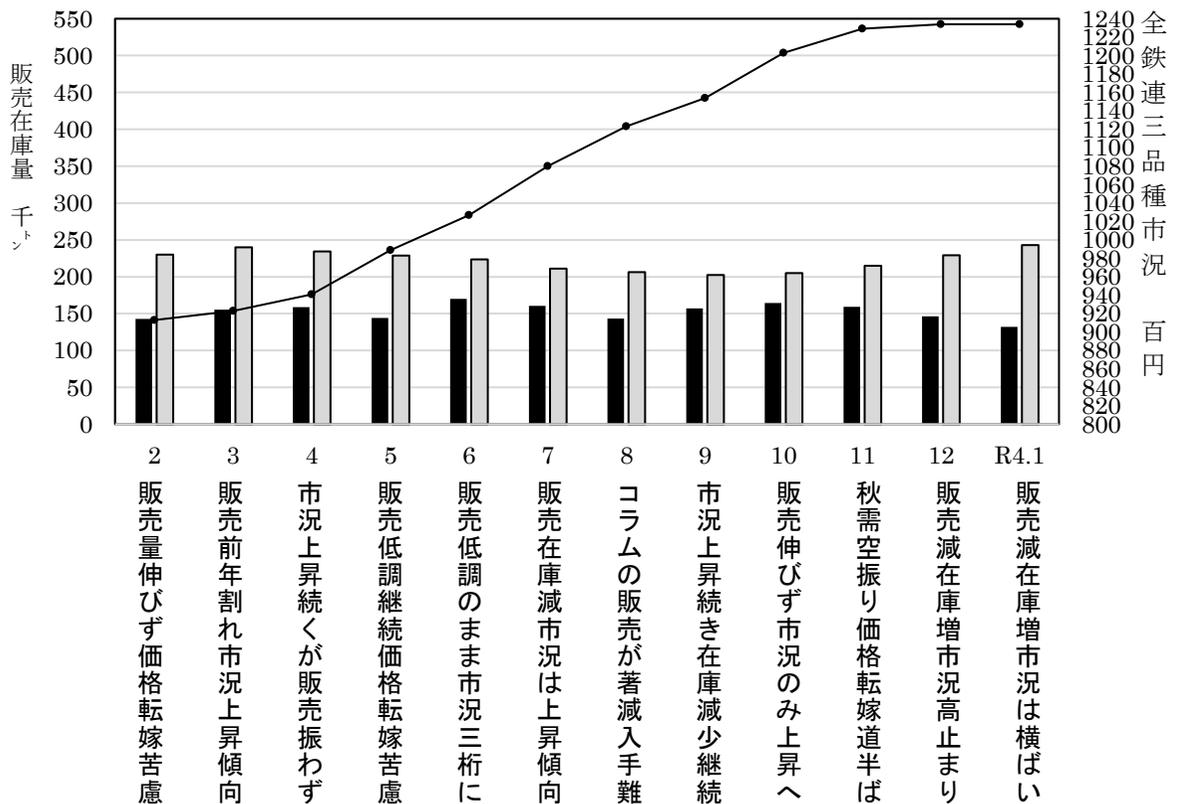
1月の販売は不需求期の季節的要因もあり、どの品種も動きが悪く、特に建築は中小物件が少なく、あっても価格の厳しい状況が続いています。荷動きの悪さから在庫は増加しました。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼10.0%著減、東京9.8%減少、大阪8.5%減少、愛知17.2%著減しました。H形鋼は9.0%減少、東京8.9%減少、大阪5.6%減少、愛知16.1%著減しています。その他品種では山形鋼10.6%著減、溝形鋼10.9%著減、コラム10.4%著減、C形鋼8.9%減少しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼5.3%増加、東京5.1%増加、大阪2.5%増加、愛知6.9%増加しています。H形鋼は9.2%増加、東京7.0%増加、大阪8.4%増加、愛知15.6%著増しています。その他品種は山形鋼0.5%微増、溝形鋼4.3%増加、コラム7.9%増加、C形鋼4.6%増加となっています。

### 過去13ヶ月間の3指標の推移

■ 販売量    □ 在庫量    ● 三品種市況



販売量伸びず価格転嫁苦慮

販売前年割れ市況上昇傾向

市況上昇続くが販売振わず

販売低調継続価格転嫁苦慮

販売低調のまま市況三桁に

販売在庫減市況は上昇傾向

コラムの販売が著減入手難

市況上昇続き在庫減少継続

販売伸びず市況のみ上昇へ

秋需空振り価格転嫁道半ば

販売減在庫増市況高止まり

販売減在庫増市況は横ばい